

---

研究主題 **中学校道徳における情報モラル指導に関する研究**

－疑似体験を取り入れた授業展開例の作成をとおして－

---

【総括研究担当者】 情報教育担当

【この研究に対する問い合わせ先】

Tel 0198-27-2254 FAX 0198-27-3562

E-mail johor@center.iwate-ed.jp

---

《道徳読み物資料》

**秘密にしたかったのに（メール）**

今週は、理科室掃除当番。みんな早く部活動に行きたいから、誰もゴミ収集所へ持っていかない。しかたなく、今日もわたしがゴミ収集所へ運んだ。もどつてくると、もうみんなはいない。一人寂しく理科室の鍵を職員室に返して部活動に行った。

次の日の掃除の時、

《今日もわたしがゴミ捨てに行くのか…》

と、考えていたとき、

「今日は、ボクが運ぶよ。」

同じ班のヤスシ君は、そういつてゴミ箱をゴミ収集所まで持って行ってしまった。いつもわたしが運んでいたのに……。みんないなくなってしまった教室で、窓を閉めながら、ヤスシ君が戻ってくるのを待っていた。

《なんてお礼を言おう。》

でも、昨日までわたしがしていたことだから、お礼を言うのは変かな。

「あれ、なにしているの？」ヤスシ君はそう言いながらゴミ箱を置いた。

「ありがとう。いつもわたしがしていたのに。」

「明日から順番にするように、みんなに話すよ。鍵を閉めるよ。」

ヤスシ君はそう言っ、わたしがいつも返していた理科室の鍵を持って職員室に行ってしまった。

後ろ姿を見送りながら、ヤスシ君がちょっといい人に思えてきた。

『今日、いいことあったんだ＼(^\_^)／』となりのクラス

のアツコに、家に帰ってからメールを出した。

『何があったの？おしえてβ』

《後略》

平成22年11月16日 研究協力校（紫波町立紫波第一中学校）で授業実践

---

## 1 研究の目的

中学校道徳における情報モラル指導に関する考え方を明らかにして、生徒の発達段階に即した教材を作成し、それに伴った授業展開例を作成をおこないます。さらに、作成した教材や展開例を用いて授業実践及び実践結果の分析と考察を行うことにより、道徳の時間の改善に役立てようと考えています。

## 2 教材作成の視点

情報モラル指導をする場合に必要となるのが、インターネット上のサービスがあります。掲示板やチャット、ブログ、メール、プロフ、ホームページなどがあります。これらは主に特定した相手や不特定多数に発信する行為です。それを、道徳の四つの内容項目と照らし合わせた場合、「主として他の人とのかかわりに関すること」にあてはまります。

私の名前はアツコ。勉強も運動もクラスで中くらいのごく普通の中学生。明後日がテストなので今日は部活動がない。放課後にすぐ下校になるから、友達と話す時間も無くすぐに家に帰ってきた。

テストがあるのに全然気が向かない。でも、前回のテストが良くなかったから、今回のテストはがんばらないと。まずは、特に不得意な数学から・・・。

「ここはテストに必ず出る問題だから、なんとしても解かないと。」

数学の問題集を開いて鉛筆を持ったまま、止まってしまっていた。

「う～、難しいな。この問題わかんない。」

「わかる人から解き方を聞いた方が早いかな。」

最近買ったばかりのケータイを取り出して、「助けてメール」を何人かの友人に出した。

 『お願い。数学 10 ページ間 3 の解き方教えて m(\_ \_)m』

 《ブルブル》

「あっ、ユウコからのメールだ。さすがユウコ、この問題どうやって解いたのかな？」


そう思いながらメールを見た。ユウコは同じ小学校の出身で同じ部活なので毎日一緒に帰っている。クラスは別でも、部活も勉強も困ったときには頼りになる、何でも話せる友達だ。ケータイを買ってからは毎日メールのやり取りをしている。


 『アツコ、問題解けたかな？


ねえ、聞いて！聞いて！今日、いいことあったんだ＼(^\_^)／』


「エッ！いいことって何？何？」


もう、テスト勉強のことなんてすっかり頭から消えてしまい、すぐに返信を送った。

 『何があったの？おしえて？ユウコ！！』

 『ヤスシ君っていい人(^o^)]

 『ヤスシ君って(?!?) ユウコのクラスの人なの？』

 『今月の班替えで一緒になった、私の席の右斜め前の人だよ。』


 『よく覚えていないな～ ねえ、ユウコ、くわしく教えて？』

ユウコとのメールのやり取りで今日のことが分かってきた。

理科室掃除のゴミ捨てを、いつもはユウコひとりですしているのに、今日は、同じ班のヤスシ君がゴミ箱を持って行ってくれたこと。「明日から順番にしよう」と提案してくれたこと。理科室の鍵を閉めて職員室に返すのもヤスシ君がしてくれたこと。

「ユウコのラッキーを、みんなに教えちゃお。」

私はアツコからのメールを何人かの友人に転送した。

 『ヤスシ君って知ってる？いい人らしいね。ユウコがいいことあったんだって。』

あれっ、もうこんな時間。どうしよう、数学の問題集、全然進んでいない。

もう 10 時を過ぎてしまっていた。

次の日、休み時間に教室で友人と話していると、ユウコが突然教室に入ってきて、私の机の前に立って大きな声で話した。

「どうして他の人に教えたの？」

みんなの視線が私たちに集中し、一瞬、クラス内の時間が止まったように感じた。

私は、小さな声でユウコに聞いた。

「あれ、教えちゃダメだったの？」

「何言っているの？アツコ！」

ユウコは怒って教室から出て行ってしまった。

「どうしよう・・・。」

思わずつぶやいてしまった。クラスみんなは、私と視線を合わせるのを避けているよ

うに感じた。

「どうして、ユウコを怒らせてしまったのかな」

授業中ずっとこのこととばかりを考えていた。

明日がテストなので今日も放課後には何もない。授業が終わったらすぐにでも帰りたい重い気分だった。

教科書を片付けて帰ろうとしたとき、同じクラスのとモミから話しかけられた。

「アツコちゃん。元気だしなよ。」

「うん……。ユウコに怒られちゃったんだ。」

「アツコちゃんが昨日、送ってくれたメールのことだと思うよ。休み時間に来たユウコちゃんすごく大きな声で言ってたからね。」

「ねえ、転送しちゃだめだったのかな？」

「あのメール、アツコちゃんだけに読んでほしかったんじゃないかな。」

「メールには、秘密だなんてユウコは書いていなかったよ。」

「でも、私はユウコちゃんから直接メールもらってないよ。」

その言葉で、はっと気がついた。どうして、ユウコは私にしかメールしなかったのか。いつも話している仲間のとモミにも出していないのか……。

私は家に帰って、とモミの言葉を思い出しながらしばらく考えた。

「ユウコに悪いことしたなー」



《ブルブル》

ユウコからメールが来た。私は恐る恐るケータイのメールを見た。



『アツコ、今日は怒鳴ってごめんなさい。明日くわしく話すから。』

私はユウコに伝えなければならないことは何なのかを考えた。

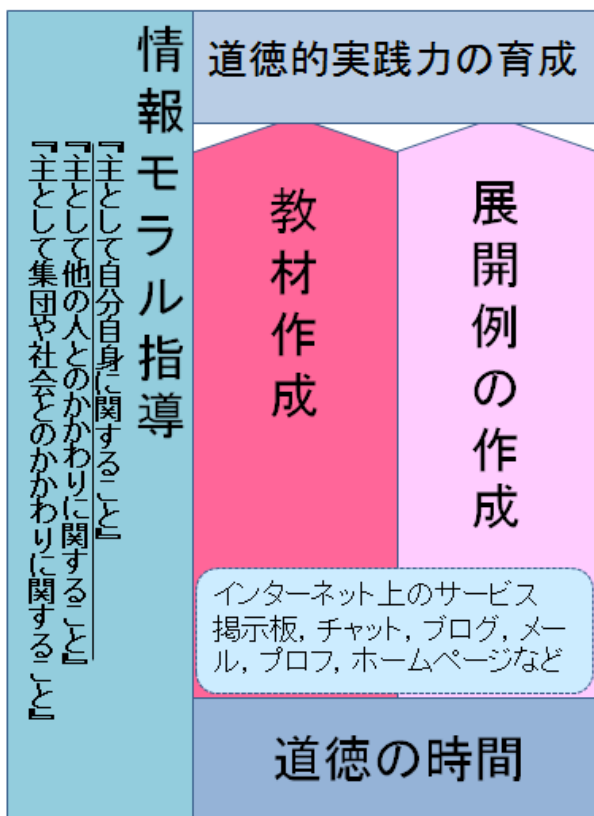
### 『秘密にしたかったのに』の主な変更点

- ・主人公の友達がメール転送した内容から、主人公が転送したことへ変更
- ・主人公「わたし」を「アツコ」に変更
- ・母親の話の友だちに変更
- ・最後の部分で友だちにメールする部分を、友だちに話をする事へ変更
- ・メールの内容を見やすく表記

### 《展開例》

主 題	信頼できる友達	内容項目	2-(3)
資料名	教えちゃだめだったの？	用いる疑似体験の指導	メール（スタモバ）
ねらい	メールに対する価値観の違いを理解し、共によりよく生活しようとする態度を育てる。		
主題構成の理由	携帯電話を持っている生徒は、連絡やささいなことを報告することにもメールを使用する。機能として安易に転送することもできる。メールに対する価値が人それぞれ違うので、友達の気持ちを考えて正しく使うことに気づかせたい。		
展開の概要		指導上の留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 親しい友人の秘密を他人にばらしてしまっただけですか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 秘密にしていたことをばらしたり、ばらされたりした経験をもとにして、資料への関心を高める。</li></ul>	
展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 数学の問題の「助けてメール」を出したアツコをどう思いますか。</li><li>・ アツコは、どうしてユウコのメールをみんなに転送したのでしょうか。</li><li>・ メールを転送したアツコを、ユウコはどう思いましたか。</li><li>・ とモミの話聞いてアツコは何に気づいた</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ アツコの行動に対して自分の考えをもつ。</li><li>・ 転送されたユウコの気持ちになって考える。</li></ul>	

……………〈以下略〉……………



【図 1】道徳に関する基本構想図

以上のような指導の観点に即した教材及び展開例を作成します。

#### 4 情報モラル指導

「情報モラル指導者研修ハンドブック」(2010年1月文部科学省・財団法人コンピュータ教育開発センター)には、情報モラル指導に二つの領域があり、「知恵を磨く」領域と、「心を磨く」領域があると書かれている。「知恵を磨く」領域では、安全への知恵や情報セキュリティ、「心を磨く」領域では、情報社会の倫理や法の理解や遵守、共通の項目として公共的なネットワーク社会の構築の5分野から構成されています。情報モラルではその5分野をバランスよく備えた生徒を、情報機器を適正に使用できる状態と考えます。

「心を磨く」領域を育てるためには、道徳での役割が重要になる。本研究においては、「心を磨く」領域に焦点をあて、教材や展開例を作成していきます。

#### 5 成果と課題

成果としては、中学校道徳における情報モラル指導において、道徳性を養うための方向性を見いだすことができ、教材及び指

#### 3 中学校道徳における情報モラル指導

道徳教育における情報モラル指導では、通常の日徳の時間と同様に道徳的価値へ近づければいけません。インターネット上のサービスを題材として、道徳的価値へ近づけるための教材作成をおこなっていきます。

ア 礼儀の意義を理解し、時と場に合った適切な言動をとる。

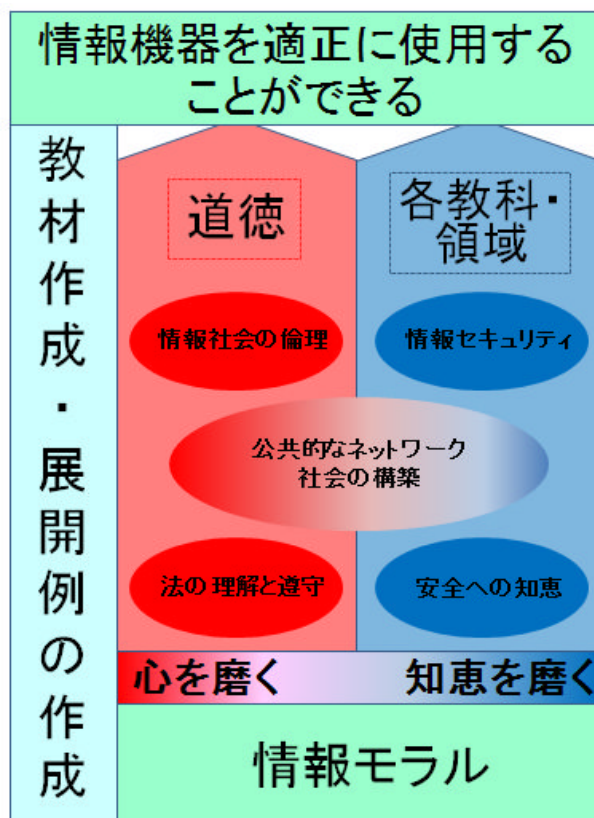
イ 温かい人間愛の精神を深め、他の人に対し思いやりの心をもつ。

ウ 友情の尊さを理解して心から信頼できる友だちをもち、互いに励まし合い、高め合う。

エ 男女は互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。

オ それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。

カ 多くの善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえる。



【図 2】情報モラルに関する基本構想図

導案を作成し改善することができました。課題としては、生徒たちが直面するインターネット上の他のサービスを題材とした読み物教材を充実させることができました。